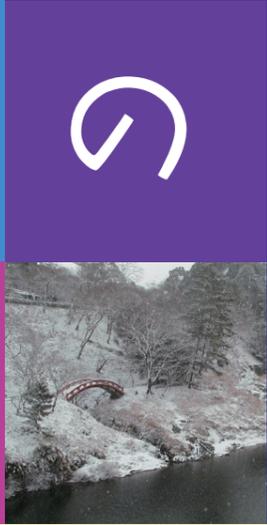
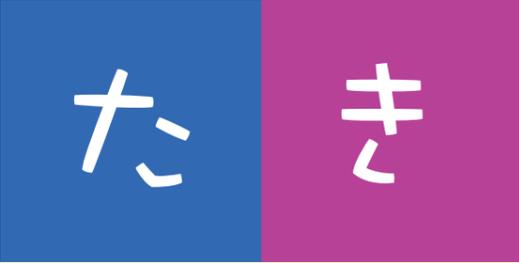
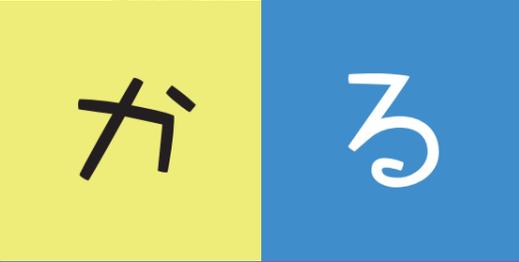


ようこそ桜淵公園へ。

ここは、魅力いっぱいの時空間が、あなたを待ち受けています。清流のほとりに佇み耳を澄ませば小鳥たちのさえずりが・・・、小径を歩けば可憐な山野草に目を奪われて・・・、老若男女がゆったりと憩えるいろいろな広場も・・・、目を移せば、先人の吐息が充満する営みの跡や文学碑・・・、そして、木漏れ日に透けるあざやかな紅葉・・・、もちろん、春爛漫の桜のアーチは圧巻の一語。さあ、あなただけの桜淵を見つげに出かけませんか。

しんしろまちなか散策を考える会



① 繁栄の昔を偲ぶ河岸の跡
桜淵は、「山の湊 馬の浪」とうたわれた舟運と陸運との中継地であった。鉄道開通までは、様々な山海の物資がここに集結し、船と馬とで賑わった。



② 祈りの殿堂 妙見堂
この地に初めて桜を植えた城主菅沼定実公が、妙見様を厚く信仰した。豊川を上り下りする船の安全を祈願したと伝わる。桜淵随一のパワースポット！



③ 桜淵の昔の地名は 笠岩
菅笠を伏せた形からそう呼ばれ親しまれている。桜淵と呼ばれる前の地名で、この地を象徴する巨岩である。海底の火山灰が固まった結晶片岩。



④ 郷土の歌人 山崎多比良 歌碑
ふるさとを代表する歌人で郷土史家でもあった。清らかな水面を見下ろす場所に建つ。「咲く花のま下にみゆる川淵はあをあをとして水面かがやく」



⑤ 歌人 若山牧水 歌碑
生涯酒と旅を愛した自然主義の牧水。親交の深かった当地の金沢修二を慕って訪れた。「釣くらし帰れば母に叱られきしかれる母にわたしき鮎を」



⑥ ぽかぽか陽気に藤棚の下で
毎年、4月中旬頃から見事な花を咲かせて目を楽しませてくれる藤棚の傍らで遊具に興じる童たち。家族連れのパイクニックには最高のエリア。



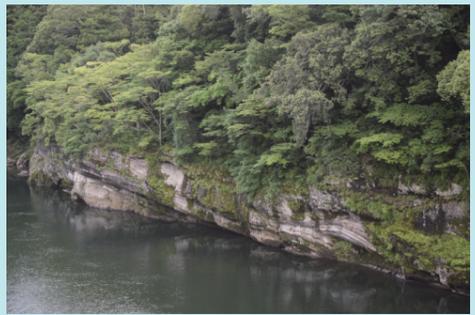
⑦ 俳人 市川丁子 句碑
(1875~1952年)
三河俳壇の重鎮、当地にも大勢の門人がいた。花見の帰り際、名残惜しい心境を詠んだ昭和17年の発句。「暮永し かへり見すれば 散る桜」



⑩ 両岸散策の架け橋 笠岩橋
昭和47年竣工、全長117mのつり橋。まさに三河の嵐山、橋の上からは豊川の上下流すべてがビューポイント。とりわけ本宮山に落ちる夕日は絶景。



⑧ 車椅子OK 展望デッキ
ザ・桜淵という景観が目の当たりにできる絶好ポイント。写真を撮るなら絶対外せない。豊川の清流と対岸の奇岩、山並みがしばし時間を止める。



⑪ 自然が織りなす美 蜂の巣岩
石灰岩が浸食を受けて蜂の巣のように見える。市指定名勝桜淵の中核を成す。笠岩橋から眺めるのがよい。下の淵は竜宮へつながっているとの伝説。



⑨ 恋人がささやく 花月橋
散策路を歩くと、緑と水の中に一際赤い太鼓橋が眼にとまる。ここで愛を誓うと幸せになれるとか。稀にうっすらと雪化粧した景観も情緒がある。



⑫ 自然観察の宝庫 広葉樹母樹林
蜂の巣岩の上あたりは、サクラ、ケヤキ、ブナ、ナラなどが豊かに茂り、愛知県から優良樹林の指定を受けている。植物好きならここは見逃せない。



⑬ 木かげプラザでほっとひと息
散策の途中、トイレやちょっと疲れたらここで一服していこう。渡る涼風が心地よくほほを撫で、三河材のぬくもりがしばしあなたを癒してくれる。



⑭ 中央広場で賑わいに遭遇
小腹が空いたなど感じた時、ひょっとしてここでキッチンカーのもてなしに会えるかも。特にイベント開催情報があったら、要チェックの広場。



⑮ のびのび天地 大芝生広場
誰でも何時でも利用できる多目的エリア。東屋で読書、噴水ではしゃいだら、芝生で犬の字になるのもまた自由。どう過ごすかは、あなたが決める。



⑯ 先人の生活を偲ぶ 釜屋建民家
広場の一角に付近の古民家を復元。全国でも珍しい分棟型の「釜屋建」。ここを拠点に「健康の道」が山間を縫う。ウォーキング愛好者のメッカ。



⑰ 市民愛着の うでこき山
標高123mの山頂から市街が眺望でき、春は山桜が楚々として花開く。昔、神様が富士山を造る土を運ぶ途中、手からこぼれ落ちたのがこの山と伝う。



⑱ ふれあいの水辺 重川池
うでこき山の麓にある農業用ため池。池を巡る散策デッキが設置されていて楽しい。周りの湿地帯には、珍しい貴重な植物が多く自生する。